

C | O | N | T | E | N | T | S

- 【1】2016年度公開セミナーのご案内
- 【2】職場を考える(29)
- 【3】生き生き施設づくり(21)
- 【4】信頼のある職場(29)
- 【5】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(39)
- 【6】中国における工場管理ー思い立ったが吉日
- 【7】山女茶屋

【1】2016年度公開セミナーのご案内

目標管理推進者養成研修(第39回)は12月10日～12日に第2ステップを終了しました。
次年度の公開セミナーの予定は2月のメルマガでお知らせします。

【2】職場を考える(29)

【事務スタッフの多能化】

各企業の方とお話していて、最近気になることがあります。それは、事務スタッフの職能が分かれすぎ。仕事が縦割りに分かれ、担当がいなければ仕事が進まないという状態。一人ひとり、狭い業務範囲のオペレーションを担当するので、会社の状態に問題意識をもてなくなり、仕事の楽しさも感じる事ができていない。

一方、スタッフ部門の仕事量は締め日に対応した繁閑があります。その調整は、日々の仕事量の調整として各職場で行う必要があります。もし、部門のスタッフが多能であれば、調整の範囲は大きくなり、スタッフ部門の省人化を進めることができるかもしれません。製造現場でいう「ミズスマシ」のような存在をつくり出せば、急な休みにも対応能力が高まる可能性が高いはずです。

もし、経理と人事の両方がわかるスタッフ、経理と法務の両方がわかるスタッフ、そんなスタッフがいたら、事務部門の組織運営はずいぶん柔軟になると思うのですが。

中嶋

【3】生き生き施設づくり(21)

【初冬点描】

前回の訂正。

「介護施設には暮らしに彩りを添えるたくさんの季節行事があります」が、「ちなみにお年寄りの現役時代になかったバレンタインデーやハロウィーンは、まだ施設行事で市民権を得ていないようです」と書きましたが、私の認識不足でした。

知り合いの施設長が「うちはハロウィーンやっていますよ」と教えてくれました。ハロウィーンがどうのこうのよりも、その日はおかしを用意して、みんなおいでと地域の子どもたちを施設に呼びこんで、お年寄りとおふれあう機会にするこ

とが眼目だそうです。なるほどと合点がいました。

そういえば筆者の子どもころ（昭和30年代）、春になると集落の各戸をまわってお年寄りや大人からおかしをもらう行事があって、楽しみだったことを思い出しました。調べると、“おせったい”という行事だそうです。施設のお年寄りが子どもだったころにはもっと一般的な風物詩だったはずで、ハロウィーンでおかしをもらって喜ぶ子どもたちに、自分の子どもころの楽しい思い出を重ねあわせているのかもしれない。

パートナー・三宅敬司

【4】信頼のある職場(29)

【お役立ちの認め方】

新たに導入された業務ソフトの使い方をいち早くマスターした若手社員Aさんのお困り事は先輩社員からのSOSです。「こうなったけれどどうすればいい」と声がかかれば、立ち上がって声の主のところへ行き、操作のやり方を説明したり、操作自体を行ったりします。たまのことであれば人の役に立つ事ですから快く引き受けるAさんですが、何人もから度重なると自分自身の業務が滞ります。その頻度が一線を越え強いストレスを感じたある日、どうすればいいか上司に相談しました。

話を聞いた後で上司は「三つの選択肢がある。一つは君自身の担当業務に正式にそれを加える。二つは講師になって職場内勉強会を行う。三つは一定の間インストラクターに外部から来て常駐してもらう。どれがいいか考えてごらん」と言いました。Aさんは考えてみましたがどれも気がすまないのか、まだ上司に考えを伝えてきていません。

おそらく、自分のお役立ちをまわりが認めてくれない（と感じている）ことがAさんにとってストレスになっていると考えられます。「忙しいのにすまないけれどとても助かった、ありがとう」「お返しになにか手伝えることはない」と気持ちを含めて言ってもらうだけでもAさんにとっては十分だったのかもしれない。

職場の仕事にちょっとした変化が起きるとき、その対応をしくみづくりによるのか、構成員間のお互いさまの中でこなすのか。どちらもありますが、少々の変化対応であれば、お互いさまでこなす方が組織運営のコストは安くすみそうです。

パートナー・三宅敬司

【5】少年硬式野球チームのコーチと目標管理(39)

【基本理念と管理監督】

先日、2年半前に全国大会に出場した卒団生の中で、中心的な選手だった二人がグラウンドにやって来ました。中学三年生とはいっても身体も180センチ近くになり、すっかり大人。

無事、甲子園を目指せる強豪高校への進路が決まり（正式には学科試験後ですが）、監督・コーチへの挨拶と後輩たちへのシニアチームへの誘いを兼ねて、久しぶりにリトルリーグの小さなサイズで一緒に汗を流しました。

現役のリトルリーガーにとっては身近なヒーローで、「早っ!」とか「すげ〜」とか言いながら楽しそうに練習をしておりました。

練習が終わり、恒例の先輩から後輩達へのアドバイスにおいて、元エースピッチャーから次のようなメッセージが・・・

「みんな、野球は楽しい?」「野球を楽しく続けるためにも勉強をしっかりとやってください!」とはじまりました。思わず、その言葉に監督・コーチ陣がビククリ!

続けて、「一緒に野球をやってきた、野球の実力は僕よりも凄く高くて、ずっと一緒に野球をやろう!」って誓っていたチームメイトが、勉強をしっかりとやって

いなかったの、本当に行きたい高校には入れてもらえず、今も悩んでいるんだ・・・」「リトルリーグ時代に監督やコーチが勉強をしなければダメだ！と言ってくれていたけれども、真面目に取り組んでいなかったことを、後悔していると思う・・・僕も・・・」と、話の9割が勉強の大切さであった。

我がリーグの基本理念「文武両道」はお題目ではない！子ども達の未来を切り開くためにも必須の考えでもあり、行動規範の一つともいえます。しかしながら、多くの子も達に心底伝わっているわけではなく、こうして実際に苦しむ姿を見て、初めて気づくこともあるのだと感じました。

今も苦しんでいる卒団生に対しても心から応援のメッセージを送りつつ、今後同じような出来事が起きぬよう、癖づけされるまで保護者とともに、しっかりと「より良い管理監督」をしていきたいと思ひます。自主性も大切だと思ひますが、「癖づけ」までの間は「管理監督」も大切なのでは？と感じました。

皆様の職場では基本の理念をお題目にしないために、日々「より良い管理監督」を行っていますか？

イケメンコーチ

【6】中国における工場管理－思い立ったが吉日

現場を歩いていて「この工程は、ここを改善できるのではないか」と閃いたり、セミナーを聴講しているとき、講師の体験談から「これは我社でも取り入れられるのではないか」と感じたり、もっと個人的には、同僚との何気ない会話から行動のきっかけを得ることがあります。考えてみれば、日々の会話や目にするものの中には多くの革新（広い意味で）のチャンスが潜んでいます。

私が技術士の試験を受けたのも、昼休みに先輩が技術士受験の話をしているのを聞き、それまで全く意識していなかった技術士に興味をもったのがきっかけでした。APECエンジニアの資格を取ったのも、東京の技術士仲間が挑戦するというので、一緒に願書を出したのがきっかけでした。今、この二つが大いに役立っています。これらはきっかけが行動まで結びついた例ですが、鈍感に聞き流してしまっていて、何年も経ってから「しまった！」と思ひたことも多々あります。そうです、「思い立ったが吉日」です。皆さん、これは面白いと感じた日が「吉日」です。

そこから行動に移すと、世の中の見え方が変わってきますよ。

順利包装集団 福喜多俊夫

【7】山女茶屋

大阪から鳥取に向かうルートに、戸倉峠を通る国道29号線があります。筆者が車に乗り始めた1970年代には、高速道路がなく、姫路からの国道29号線はメイン幹線。3時間くらいで鳥取砂丘まで行くことができました。

峠の手前に山女茶屋がありました。茅葺き農家を移築し、山菜天ぷらや山女料理を食べさせてくれる魅力的な茶屋。独身時代に一度、子どもが生まれてから一度、二回ほど食べに行ったことがあります。

先日、久しぶりに国道29号線を走ってみました。現在は、高速道路が幹線となり、立派なローカル道路（つまり閑散とした立派な道）になっています。ドライブインも廃業し、落ち着いた道に戻っています。山女茶屋は廃業された様子。屋根の萱が草が生え、池の山女もいなくなっています。

環境変化に対応することの難しさと大事さを感じさせられました。

代表 中嶋哲夫

◆◇MBO(目標管理)実践支援センターの考え方

MBO(目標管理)実践支援センターはMBO(目標管理)を組織内で展開するためのノウハウを蓄積し、人事担当者へ提供するためのセンターです。営利事業と非営利事業を組み合わせるこの機能を果たしていくつもりです。

<http://www.mbo-mcp.com/>



編集・発行／MBO(目標管理)実践支援センター
代表／中嶋哲夫 <http://www.mbo-mcp.com/>
事務局／(株)MC&P TEL:06-4706-3311

- 最後までお読みいただきましてありがとうございます。
このメールマガジンは、センターの講師陣が出会った方々に感謝の気持ちを込めて送らせていただいています。
もし、ご関心のない場合には、ご面倒ですが解除の手続きをお願い申し上げます。
- このメルマガを読んでもらいたいお知り合いを是非ご紹介ください。
- 投稿または配信停止を希望される場合は、
下記「お問い合わせフォーム」にて、
「MBO投稿」または「MBOメルマガ配信停止希望」とご記入の上、送信願います。
<https://secure.mcp.co.jp/contact.html>
- このメールアドレスは配信専用となっております。
返信いただいても対応はいたしかねますのでご了承ください。
ご連絡は下記のアドレスまでお願いいたします。
mbodoor@mbo.mcp.co.jp

※本メールの無断転載・複製を禁じます。